PJ

ピックルボールが日経トレンディ「2026年ヒット商品ベスト30」第6位に選出

PPA世界ランキング男子1位のベン・ジョンズと女子2位のアナ・ブライトが東京・有明で日本初プレーへ。船水雄太も出場、観戦無料

一般財団法人ピックルボール日本連盟（Pickleball Japan、以下「PJ」）は、2026年11月3日に発表された日経トレンディ「2026年ヒット商品ベスト30」で、ピックルボールが第6位に選出されたことをお知らせします。
また、2026年11月5日に発表された『現代用語の基礎知識』選 「2026 T＆D保険グループ新語・流行語大賞」の候補30語にも、「ピックルボール」が選ばれました。

ピックルボールは今、国内で人気が急速に高まっているスポーツです。各地で専用コートが相次いでオープンしています。ファッション誌が企画した体験会には、定員60人に対して約1,000人が応募。10月に開催した「第2回 PJL BURGER KING® CUP（バーガーキング® カップ）」では、申し込み開始からわずか15分で定員に達したカテゴリーもありました。

PJは、日経トレンディでの第6位選出と新語・流行語大賞の候補入りを、全国のプレーヤーの皆さまとともに、うれしく受け止めています。競技の魅力を伝えるプレーヤーの皆さま、各地でプレーの場をつくる方々、活動を支えてくださる協賛企業の皆さまに、心より感謝申し上げます。



『日経トレンディ』2026年12月号の表紙



認定エンブレム

なぜ今、ピックルボールに人が集まるのか

ピックルボールは、パドルと穴の開いたボールを使い、バドミントンのダブルスと同じ広さのコートで打ち合うスポーツです。初めての方でも比較的ラリーが続きやすく、その日のうちにゲームを楽しめるのが魅力です。

一人でもプレーの輪に入りやすく、その場に集まった人とペアを組み、試合ごとに組み合わせを替えながら楽しむ「オープンプレー」というスタイルもあります。初めて会った人とも、プレーするうちに自然と声を掛け合い、笑顔になる。いいプレーが決まればパドルタッチ。年齢や経験の違う人と同じコートに立ち、プレーを通じて仲間が増えていくのも、このスポーツの魅力です。

一緒にプレーすることで人と人がつながる。その魅力は、人気を集める企業対抗戦にも表れています。普段は仕事で接点の少ない社員同士がペアを組み、仲間のプレーを応援する。部署や役職を越えて交流できる、チームビルディングの機会にもなっています。

まずは体験会で、パドルを手に

ピックルボールの楽しさを、まずは体験会で味わってみませんか？
PJ公式サイトでは、初めての方も参加できる各地の体験会をご案内しています。

https://japanpickleball.org/official/trial-events/

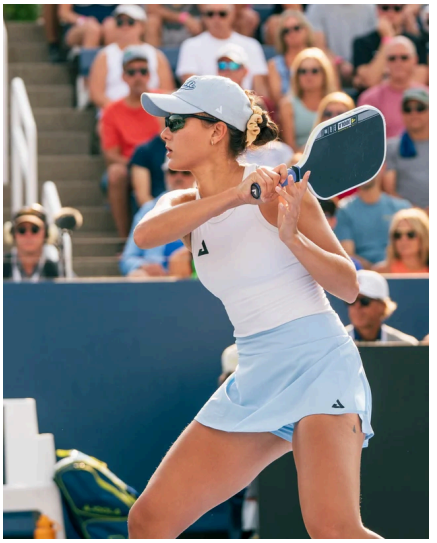
体験会案内QRコード

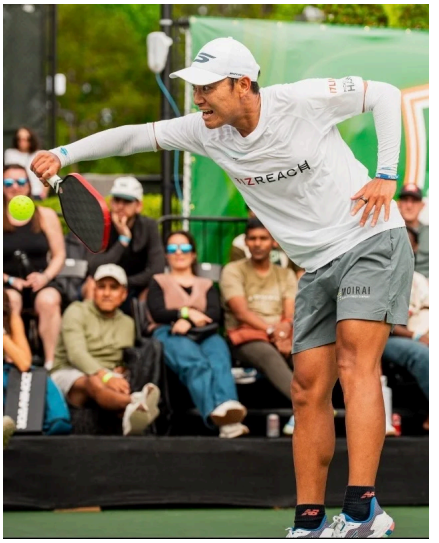
12月は東京・有明へ。世界トップ選手の試合を無料で観戦

2026年12月7日（月）から11日（金）まで、有明テニスの森公園で「ZIPAIR & KENEDIX present 第3回PJピックルボールチャンピオンシップス2026 in Japan」を開催します。
プロ部門では「PPA Asia 125 PJ TOKYO Challenger 2026」を日本で初開催します。PPA公式ランキング男子1位のベン・ジョンズ選手と、女子2位のアナ・ブライト選手は、この大会でともに日本で初めてプレーする予定です。日本人として初めて米国のメジャーリーグ・ピックルボール（MLP）でプレーした船水雄太選手も出場します。



ベン・ジョンズ選手


アナ・ブライト選手



船水雄太選手

注目のペア（予定）
12月8日（火）混合ダブルス　ベン・ジョンズ選手／アナ・ブライト選手
12月9日（水）男子ダブルス　ベン・ジョンズ選手／船水雄太選手

大会には約2000人の参加を見込んでおり、屋内24面を含む全61面のコートを使用する予定で、ジュニアからシニアまで、幅広い世代の選手がそれぞれのカテゴリーで競います。
ネット際でボールを柔らかく打ち合う「ディンク」。そこから一転、選手が至近距離で速い打球を応酬する「ファイヤーファイト」へ。この緩急が、ピックルボール観戦の見どころの一つです。**大会期間中は全エリアで観戦無料です。** ぜひ会場で、トップ選手のプレーを間近にご覧ください。

開催日程　2026年12月7日（月）～11日（金）
会場　有明テニスの森公園（東京都江東区）
大会日程・観戦情報を見る｜大会公式サイト
https://japanpickleball.org/ppa-asia-125/

※世界ランキングはPPA公式の男女別ランキング（2026年11月2日確認）。大会日程、出場選手、ペアの組み合わせは変更となる場合があります。

報道関係者の皆さまへ｜有明大会の取材申込

有明大会の取材をご希望の方は、下記フォームからお申し込みください。選手インタビューをご希望の場合は、取材内容とあわせてお知らせください。

有明大会の取材を申し込む

https://forms.gle/qp9aL8TrYUfqVa2n9

※選手インタビューは、試合日程や選手本人の意向等により、ご希望に添えない場合があります。

取材申込QRコード

一般財団法人ピックルボール日本連盟について

一般財団法人ピックルボール日本連盟（PJ）は、日本におけるピックルボールの普及、競技力向上、国際交流を推進する国内統括団体です。2026年6月に公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）の承認団体となりました。大会の開催、体験機会の提供、コーチ・審判の育成、日本代表の選考・派遣などを通じて、初めてプレーする方から世界を目指す選手まで、それぞれの目標に応じて競技に取り組める環境づくりを進めています。

ピックルボール日本連盟 公式サイト

●公式サイト

https://japanpickleball.org/

●Instagram

https://www.instagram.com/pickleballjapanfederation

●Facebook

https://www.facebook.com/pickleballjapan

●X

https://x.com/pjf_official

お問い合わせ

一般財団法人ピックルボール日本連盟
contact@japanpickleball.org

PJのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/144389